

新宿公民館便り

～つどい まなび つなぐ～



令和6年度 第9号
令和6年10月7日(月)
発行 千葉市新宿公民館
住所 中央区新宿2-16-14
電話 043-243-4343

【大多喜に咲く曼殊沙華】

長すぎた夏が、やっと終わる。10月になっても市原市の奥の林で蝉の声を聞いた。秋のお彼岸に見かけなかった曼殊沙華を、大多喜の田んぼに見つけた。田んぼを囲むように、あぜ道にぐるりと真っ赤に並んでいる。蕾も多くついていて、これから満開の見ごろを迎えるようだった。季節がずれてきていることを自然が示していた。暦の季節は人が定めたものなのだろう。自然の移り変わりに、人は暦を合わせるべきなのか。市原市の山間で、今年初めてキンモクセイの香りに出会った。千葉市街に生活していると、今年はまだそれはない。

季節は山から下りてくるのだなあ。

主催事業報告

9月24日(火) 「防災セミナー①」

10月1日(火) 「防災セミナー②」

能登半島の大地震から9か月が過ぎました。そしてその復旧・復興も十分進まないうちに、またしても大水害に見舞われてしまいました。ニュースの映像には目を覆うばかりです。被災地に御親戚、ご関係のある方はいらっしゃるでしょうか。お見舞い申し上げます。

3.11以来、防災対策について様々な場面で取り上げられるようになりました。と同時に、全国各地で災害が起こっています。今回の講座では改めて「防災」について考える機会として、明治安田生命の方が用意した、たくさんの資料を使って教えていただきました。

1日目の講義では、地震のメカニズム、在宅避難、分散避難先について説明がありました。普段の生活の中では気づかない避難について再確認しました。また、防災グッズ、防災備品についても説明があり、その中でも水が大量に必要ななどの指摘があり、「一人30を3日分」と言われますが、それ以上が必要だとのことでした。また非常用として利用できる



ような、新聞紙で作る紙スリッパや食器づくりを体験しました。

私は、1982年7月、長崎大水害を体験しました。電気は点きましたが水道とガスが止まりました。造成中の壁から滴り落ちてくる雨水をポリタンクに貯めて、カセットコンロで簡単な食事を作ったり、トイレ用水として使ったりしていました。翌日、街中には車がひっくり返り、眼鏡橋の欄干には木の枝や土砂が引っ掛かり、いくつもの橋が流されました。アーケード街には、私の身長よりはるかに高いところまで、水が増した跡が残っていました。市の中心部を流れる中島川の氾濫でした。川の氾濫のニュースを見ると、当時を思い出します。

2日目は「災害を(自分ごと化)しましょう」ということで、様々な災害に対する行動について説明がありました。日本ではここ数年において(世界的規模か)「猛暑日」、「線状降水帯」、「スーパー台風」、「短時間大雨警報」、「豪雪被害」、などの気候変動を、年間を通して耳にするようになりました。そしてそれらは「激甚化」、「頻発化」しています。「警戒レベル4、直ちに避難してください」…千葉市に住んでいるとピンとこない「警戒アラート」も身近になってくるのかもしれない。役に立つアプリ「危険度分布キキクル」や千葉市ホームページから「ハザードマップ」などをスマホに入れておくと役に立つとのことでした。

今回の講座は、防災についてのすべてを網羅した内容のように思いました。誰が、いつ、どこで災害に見舞われるわからない時代です。気候変動による災害だけでなく、地震多発国の日本では、防災について一人一人がずっと向き合わなければならない課題です。

アンケートの一部を紹介します。

・関心はあっても正確なことを知る機会がないのでタイムリーでよかった。・とても良い資料とわかりやすい講義をしていただきありがとうございました。・気になっていた在宅避難のことも詳しく聞いて良かった。避難先を複数用意するというのは考えていなかったので実践してみようと思う。・日々の生活の中で、いざという時の事前準備の大切さを改めて実感しました。家の中を見直し、そして家の片づけをして防災グッズの準備、心の準備をしたいと思います。

主催事業報告 9月25日(水)

「書類の整理収納」講座



「衣服の整理収納」、「冷蔵庫の整理収納」など家の中の様々な片付け方法の講座。今回は「書類の片付け」について、収納アドバイザーの中島さんにポイント解説していただきました。

何か片付けられない原因として、「いつか使うかもしれない」、「もう少しの期間取っておいてもいいだろう」、「とりあえずここに置いとくか・・・」などの理由をつけているものですね。机に立てていた紙類が、次第に横いっぱいになり広がったり、縦に積み上がっていったり・・・。そんなこんなで、必要な時にすぐに見つからず、いつも探し物に時間をかけていたり・・・。人生の中で、探し物をしている時間は意外多いということを知りました。今回の講座では、余計なものを省いていくと、探し物が見つかる時間は大きく短縮されるということの実体験もできました。



「本当に必要とするもの」(講師の方が言う、「本必」)を自分で見極める力をつけることが大切なようでした。まずは、一つの引き出しの整理整頓から始めてみる、とのことですよ。(でも、「今は分かっているんだけどなあ」が私の本音です・・・。)

アンケートの一部を紹介します。

・自分に思い当たることが多く、片付けの勉強になりました。
・計算すればすぐわかることですが、一日に5分間の「もの探し」をすればなんと年間で30時間超の「時間の無駄遣い」をしているというお話に驚いた。整理収納の「理屈」ではなく「作業手順」を具体的に教えてくださったので実行しやすい。本当に有益、ためになる講座で受講できてよかった。
・本格的に整理をする気分になりました。
・要る、要らないで分けるのではなく、使っている、使っていないもので分けるという話は非常にためになった。
・具体的な事例を示して説明していただきわかりやすかったです。大変参考になることばかりで受講できてよかったです。「本必」の見極めに取り組んでいきたいと思いました。

文化祭プログラムが出来上がりました

文化祭まで一か月を切りました。特に出演するサークルの方々は、いよいよ仕上げの段階ではな

いでしょうか。無理のない程度で取り組んでいただきたいものです。また、今年度実行委員の担当になっているサークルの皆様にも、前日、当日の役割分担がありますので、レターボックスに配布された文書をよくお読みいただくようお願いします。

文化祭は役員や参加者だけで運営されるものではありません。定期団体の皆様の協力があって作り上げていくものだと思いますのでよろしくお願います。事務局としましても全力応援していきます。事務局前のプログラムをどうぞ。

サークル紹介 「和装伝統文化教室」

このサークルは、着物の着方、お辞儀の仕方や作法、茶道の作法などを伝える活動をしています。学校の夏休み期間には、小中学生の女子に、これらを体験してもらう時間が数回にわたってありました。最終日には、平安時代の装束、^{うちき}「^{いちめがさ}袴」と^{とう}「^{せんきょう}市女笠」を着る体験や、扇子を使った遊び、^{とう}「^{せんきょう}投扇興」も紹介されていました。一段ときらびやかな装束には目を奪われます。それを着た小中学生は記念写真に納まっていた。



【今日の公民館】



3年前に蒔いた種は、今年も花を咲かせました。一斉に6輪。紫色に広がる花、桔梗が鮮やかです



利用者の方からお寄せいただきました。お家で丁寧に育てていらつしゃるとのこと。優しいピンクのカトレアです。



新宿公園で、少しですが色づいた葉を見つけたので撮りました。(10月6日撮影)

雲流れ 香り立つ里 彼岸花

(新宿公民館 館長 迎 浩二)